



2026 年 2 月 16 日

上 場 会 社 名 髯**サニックスホールディングス**
代表者役職氏名 代表取締役社長 宗政 寛
(コード番号4651 東証スタンダード市場・福証)
問 い 合 せ 先 取締役 常務執行役員
グループ経営本部長 増田 道正
TEL 092-284-5072

各 位

通期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、最近の業績の動向等を踏まえ、前回公表しました通期の連結業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期 通期 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	46,791	2,803	2,434	1,775	37.14 円
今 回 修 正 予 想 (B)	45,201	1,308	779	816	17.09 円
増 減 額 (B - A)	△1,589	△1,495	△1,654	△958	－
増 減 率 (%)	△3.4	△53.3	△68.0	△54.0	－
(ご参考) 前期実績(2025 年 3 月期)	45,352	2,227	1,950	1,483	31.03 円

2. 通期連結業績予想修正の理由

2026 年 3 月期の連結業績予想につきましては、第 3 四半期連結累計期間の業績及び下記の要因を踏まえて修正いたしました。

住環境領域は、夏季の「労働安全衛生規則」改正にあわせた営業体制への変更及び稼働率の見直しにより減収。また、コスト構造の見直しや削減を進めたものの、分社に伴う人員の再配置等により人件費が増加したことで僅かに減益。

エネルギー領域は、採算性を重視した受注管理の徹底及び PPA 事業者との提携拡大を推進する一方で、案件の大型化や仕様の高度化による一部着工の後ろ倒しが発生したことにより減収減益。

資源循環領域は、プラスチック事業において 1. 処理単価下落の影響、2. 一部工場において一時的な外注処理費の発生をカバー出来ず減収減益。発電事業において 1. 法定点検等に伴う修繕費、2. 将来の安定稼働を見据えたタービン刷新による減価償却費の増加、3. タービン刷新後の立上げにおいて発生したトラブルによる停止期間の拡大。加えて、稼働停止に伴うプラ燃料在庫の増加分に係る処理費用を引当計上した影響により減益。

この結果、連結売上高は 1,589 百万円、営業利益は 1,495 百万円、前回予想を下回る見込みであります。

3. 今後の対策と収益改善について

最大の利益下落要因となったプラスチック事業において、収益性の早期回復を図るため来年度より処理単価の改定を実施し、強固な利益体質への転換を目指します。発電事業においては、2026 年 4 月に安定稼働に向けた対策を前倒し実施し早期安定化を図ります。加えて、トラブルに起因してプラ燃料が一時的在庫増となった状況を鑑み、在庫の適正化を図り収益性の向上に努めてまいります。

4. 今期配当予想について

2025 年 5 月公表の配当予想に修正はございません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上